

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	35	特色ある学校づくり					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	01	生涯学習、スポーツの推進					
施策	01	学習・教育環境の充実					
事業内容							
目的	特色ある教育活動の充実を図り、児童・生徒の「生きる力」の育成と保護者・地域から信頼される学校づくりを推進します。						
対象・手段	対象：幼児・児童・生徒 手段：「総合的な学習の時間」などを通じ、地域や学校の実態に応じた学習活動を実施します。また、教員の資質・能力向上のための校内研修等を通じて、特色ある教育活動の充実を図ります。						
成果(事業が意図する成果)							
児童・生徒の興味関心や実態に応じた学習など、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することにより、自ら学び考える能力を育成することができます。							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
中長期的な視点に沿って特色ある学校づくりに取り組む学校		左記の内容に取り組む学校数			(毎) 年度に (全校) の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
成果の達成状況							
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
事業成果指標	目標値 1	校	44.00	42.00	42.00	41.00	17年度統廃合により2校減 になっています。 19年度統廃合により1校減 となっています。
	実績 1	校	44.00	42.00	42.00	41.00	
	= /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
	目標値 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	「特色ある学校づくり教育活動計画」(平成17から19年度の3か年計画)に基づき、各校・園で教育活動を行っています。						
平成19年度	「特色ある学校づくり教育活動計画」(平成17から19年度の3か年計画)に基づき、各校・園で教育活動を行っています。						

部名称		教育委員会事務局			課名称		教育指導課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	28,808	37,936	38,002	38,372		
	人件費	千円	2,501	2,501	2,484	2,478		
	事務費	千円	0	0	0	0		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	31,309	40,437	40,486	40,850		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	31,309	40,437	40,486	40,850		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	31,309	40,437	40,486	40,850		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.30	0.30	0.30	0.30		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>中長期的な視点に立った計画を策定し、学校経営上の目標を的確に設定し、特色ある教育活動を充実させるための教育実践を継続しています。今後、学校（園）長の裁量権を拡充していく中で、より一層自主的で自律的な教育活動を進める必要があります。</p>								
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	各校（園）が策定した「特色ある学校づくり教育活動計画」に沿って事業運営を行うことができました。					
	実施の成果	3	各学校が児童・生徒一人一人の個性を伸ばすとともに、多様な学習活動を充実させることができました。また、各学校自らの責任の下で地域性を生かし、主体的に運営していました。					
	効率性	2	これまでは、義務教育学校運営費標準等に基づき一律に算定した予算を措置してきましたが、各校（園）の実態に即したものに改善し、計画に沿った事業運営を行うことができ、効率的です。					
	行政の関与	3	地域・保護者から信頼される地域（コミュニティ）の中心（核）となる学校をつくるために、各学校の特色ある学校づくりを支援することが、区教育委員会の責務です。					
	妥当性	2	校（園）長が児童等や地域の実態を十分考慮し、中長期的な視点から学校（園）経営上の目標を基に適切に評価できるよう、学校（園）を支援する体制を構築することが重要となっています。					
	施策寄与度	3	学校（園）が幼児・児童・生徒の実態に即した方針に基づき、多様な教育指導を行うことにより学習環境の充実に寄与しています。					
総合評価	平成19年度の評価をBとした理由は、校（園）長の考えに基づき充実した事業内容を実施できたことによります。その内容は、各校（園）で策定した「特色ある学校づくり教育活動計画」に沿って事業を運営しました。また、事業内容や予算編成の段階から、校（園）長の裁量を拡大していく取組みにより、順調に事業を実施しました。また、過去3年間の実績では、Bと評価します。その内容は、実施してきた事業により、各校（園）は、地域や児童・生徒の実態に即した教育実践を促すことができ、地域・保護者からの学校運営に対する信頼が、より一層増してきたためです。						B	
							過年度評価	
改革方針							18年度 B	
							17年度 B	
						16年度 B		
						15年度		
						方向性		
引き続き「特色ある学校づくり教育活動計画」に沿って取り組んでいきます。今後は、各学校・園の教育目標の達成に向けた日常の教育活動の充実に結び付けるとともに、より自主的な学校経営が可能となり、地域や保護者に理解される活動となるよう、次期計画づくりに生かしていきます。今後、この事業は、一層の充実が必要であることから、第一次実行計画「15特色ある教育活動の推進」に引き継ぎ取り組んでいきます。						1		
						現状のまま継続		